

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

目 次

1	全国療育相談センター	1
2	全国療育相談センターけやき歯科診療所	1
3	児童発達支援センター「中央愛児園」	2
4	国庫補助事業	2
5	J K A補助事業	3
6	日本宝くじ協会助成事業	4
7	社会貢献事業	4
8	収益事業	4

令和4年度においては、令和3年度に引続き、新型コロナウイルス感染流行拡大により、当財団各部門の事業運営及び関係する父母団体の事業に大きな影響を受けた。当財団としては、利用者の方々の理解と協力を得て厚生労働省・東京都及び豊島区の指導を守り、感染予防対策を徹底した上で、関係団体との連携のもと障害児の福祉の向上と共生社会への理解促進を基本目標として以下の通り各事業を実施した。

1 全国療育相談センター事業

全国療育相談センターにおいては、新型コロナウイルス感染予防対策のため利用者の方々には診察及び指導前、職員には出勤直後の健康管理(体温・体調申告)を行い感染予防対策を行うとともに、通院が困難な利用者には処方箋の郵送対応や電話・Zoomでの診察・療育を併用し、自閉症児・精神発達遅滞児等を対象とした医療(小児神経科・児童精神科及び小児科)受診者数延4,605人(令和3年度6,304人)、心理・言語・福祉・教育の面からの療育相談延1,220人(令和3年度1,417人)計5,825人(令和3年度7,721人)を実施した。また臨床検査等を延675件(令和3年度564件)実施した。

全国療育相談センター年間総受診・検査数

診療科目	受診者数	臨床検査等	件数
小児神経科	18	脳波検査	160
児童精神科	4,509	心電図検査	22
小児科	78	血液検査	164
		尿検査	107
小計	4,605	心理テスト	222
心理	425		
言語	75		
療育相談等	720		
小計	1,220		
合計	5,825	合計	675

2 全国療育相談センターけやき歯科診療所事業

けやき歯科診療所では、地域の歯科医療機関で治療を受けることが困難な重度障害児(者)の歯科治療を、東京都の補助及び新宿区の委託事業として東京医科歯科大学及び新宿区歯科医師会の協力のもと、全身麻酔法、笑気吸入鎮静法等の方法を用いて延2,172名(令和3年度2,065人)に行った。

なお、新型コロナウイルス感染対策として大型空気清浄器を待合・診察室に設置するとともに診療スタッフもフェイスガード等を装備して診療を行った。

3 児童発達支援センター「中央愛児園」事業

中央愛児園では、就学前のダウン症、知的障害や発達障害等の子どもを対象に、保育の中で日常生活における基本的動作及び知識技能を習得させ、当該障害児の心身の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な療育を行うとともに、親子での通園を通じて保護者に対しても実践的な支援を行った。

また、令和4年12月より保護者から要望のあった一時預かりを新たに導入した。

施設内の消毒・換気、職員及び利用者の健康管理等の新型コロナウイルス感染予防対策を実施したが、令和4年8月24日から29日までの間に職員4名、園児5名の感染を確認したため、8月25日から9月6日までの間休園した。

年間の障害別及び年齢別在籍人員は次表のとおり、年間延人員は2,484人(令和3年度3,118人)である。

ア 通所児童の月別入・退園状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
通 所	入 園	1	0	2	0	0	1	0	0	0	3	0	1	8
	退 園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	10
	月末現在	31	31	33	33	32	33	33	33	33	36	36	28	
延人員		187	189	243	213	115	183	240	211	199	218	234	252	2,484

イ 障害別人員 (2023. 3. 31現在)

障 害 名 人 員	障 害 名		計
	ダウン症	身体・精神 発達遅滞	
男	12	5	17
女	7	4	11
計	19	9	28

ウ 年齢別人員 (2023. 3. 31現在)

年 齢 別 人 員	年 齢 別							計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
男	0	2	4	2	9	2	0	19
女	0	3	1	1	0	4	0	9
計	0	5	5	3	9	6	0	28

なお、おもちゃの図書館開催日(10月～3月)に、地域支援相談として近隣地域で障害児を養育されている保護者からの相談(19件)を行った。

4 国庫補助事業

在宅心身障害児(者)療育事業

(1) 在宅心身障害児(者)療育相談事業

在宅の障害児(者)及び保護者に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面による相談を減らし、その分、電話及びメール等を活用して、医師、ケースワーカー等の療

育に関する専門家並びに障害児を育てた経験豊かな保護者による相談及び療育指導を行うとともに、児童相談所、福祉事務所、更生相談所、医療機関など関係機関への斡旋及び連絡等を行った。

(2) 在宅心身障害児(者)療育研修事業 (関係団体実施)

家庭における障害児(者)の療育、生活援助に役立つ知識・技術習得のため、専門家による講義及び実技指導を内容とした保護者研修会を15回実施した。

そのうち、新型コロナウイルス感染対策のためオンラインを活用し、受講者が在宅でも参加できるよう工夫し7回実施した。

(3) 親子ふれあい療育キャンプ事業 (関係団体実施)

障害児(者)や養育する家族が集まる一泊二日の集団キャンプ事業を行いイベントを障害種別ごとに全国各地で開催し、特に障害のある子どもと日常的な関わりが少ない父親や孤立しがちな兄弟同志の交流を深めた。

本年度事業については、昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大により計画しても参加人数が揃わない等により開催ヶ所を大幅に減少せざるを得ず実施は2ヶ所にとどまった。

5 J K A 補助事業

「福祉事業を行なっている法人格を有さない団体に対して支援を行うことを本来事業の目的とする活動補助事業」及び「全国的なスポーツ大会の開催補助事業」

(1) 発達障害児及びその疑いのある子どもに対する総合的支援事業

発達の遅れや偏りがある乳幼児から中学生に対し、専門医による診断及び心理士・言語療法士による療育を延790人に行い発達を支援するとともに、親に対して育児への助言と医療的ケアを行った。また、新型コロナウイルス感染対策としてオンラインによる療育も積極的に実施した。

(2) 自閉症スペクトラム症児の小集団療育と親のグループ支援事業

自閉症スペクトラム症児に対し、一人一人に合わせた個別療育を行うとともに、同程度の発達段階の児毎にグループを構成(火曜日・木曜日・金曜日分け)しグループ療育を行った。

また、親・関係者に対しても対象児の情報を提供し、児に対する周囲の環境改善を図り、延597人の児童・保護者に対し実施することが出来た。

(3) ダウン症児に対する療育訓練事業

身体・知的及び言語機能の発達遅滞があるダウン症児に対して、早期から日常の生活の基本動作や応用動作・言語指導及び知的発達を促進する療育の他、音楽療法や水泳指導等も実施し、延868人に行なった。

(4) 難聴児親子と難聴学生の相互交流と将来への指針 (関係団体実施)

日帰りでの集団活動事業として、難聴児には、参加することにより社会性の向上を図り、親に対しても情報交換や交流の場を与えるため3ヶ所にて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、2ヶ所(埼玉・奈良)での実施となった。

(5) 難聴児とのコミュニケーション選択のための親支援事業 (関係団体実施)

難聴児親子に対し、聴覚障害についての正しい理解を促すため専門講師による研修会を4会場にて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により1会場(東京)のみでの実施となった。

(6) 病弱児の親のための情報提供・指導誌の発行補助事業 (関係団体実施)

病弱虚弱児についての情報提供を掲載した指導誌(会報)を作成し、保護者及び関係機関に配布した。

(7) 病弱児と保護者の相互理解と将来への指針補助事業 (関係団体実施)

医療管理下に置かれ、集団生活が困難な病弱児に対し、集団生活になじめるよう、家族も参加して適切な指導のもとに集団療育キャンプを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により全て実施を中止した。

**(8) 病弱児の社会自立に向けた地域との交流・体験学習、企業、福祉施設見学等の研修事業
(関係団体実施)**

病弱虚弱児に対し、社会的自立を見据えた情報提供や関係施設への見学等を2回行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により事業を中止した。

(9) スポーツ振興事業(関係団体実施)

新型コロナウイルス感染拡大のため2年間実施できなかったが、聴覚障害生徒及び視覚障害生徒の体位の向上と健全育成を図るためのスポーツ大会を下記会場にて、それぞれ開催した。

また、視覚障害生徒スポーツ振興事業については、フロアバレー審判員の養成研修も併せて行った。

- ①フロアバレー審判員養成研修 第1回(視覚障害生徒スポーツ振興)
令和4年7月28日 維新百年記念公園 維新大晃アリーナ(山口県山口市)
- ②フロアバレー審判員養成研修 第2回(視覚障害生徒スポーツ振興)
令和4年8月24日 維新百年記念公園 維新大晃アリーナ(山口県山口市)
- ③ 全国盲学校フロアバレー大会の開催(視覚障害生徒スポーツ振興)
令和4年8月24日～26日 維新百年記念公園 維新大晃アリーナ(山口県山口市)
- ④ 全国聾学校陸上競技大会の開催(聴覚障害生徒スポーツ振興)
令和4年10月15日～16日 NDソフトスタジアム山形(山形県天童市)
- ⑤ 全国聾学校卓球大会の開催(聴覚障害生徒スポーツ振興)
令和4年11月4日～6日 高松市総合体育館(香川県高松市)

6 日本宝くじ協会助成事業

宝くじドリームジャンボ絵本の作成・配布事業

幼児を対象にした「おもいやり」と「やさしさ」そして「勇気」の心を育てるための「宝くじドリームジャンボ絵本・みみちゃんとふしぎなたまご」を1,400セット作成し、全国の障害児保育を実施する保育所・認定こども園に配布した。

なお、同作品の原作童話については、財団のホームページ等により公募を行い、応募された作品の中から最優秀作品を選考している。

7 社会貢献事業

当財団の社会貢献として以下の事業を実施した。

- ① 児童発達支援センター中央愛児園の利用者で低所得世帯に対し、利用料自己負担分の一部を助成した。
- ② 近隣地域在住の就学前幼児及び障害児を対象に月1～2回、遊びと交流の場を提供する「おもちゃの図書館あいじえん」(ボランティア主催)に対し、施設の提供及び保育職員による支援を行った。(17回実施)
- ③ 障害児父母団体の事業について協賛支援を行った。

8 収益事業

- ① 障害児父母団体等障害福祉関係団体に対して福祉財団ビルの余剰スペースを事務所や会議室等として賃貸を行った。
- ② 当財団が作成した障害児の医療、療育、福祉及び教育に関する指導書等を研究者等の要請に応じて提供した。